

# せたがや 区議会だより



No.177  
11/21

第3回定例会の主な会議日程  
9月20日 本会議(代表質問)  
21日 本会議(代表質問、一般質問)  
22日 本会議(一般質問、議案の付託)  
28日 本会議(議案の議決)  
10月2日~16日 決算特別委員会  
19日 本会議(議案の議決)

発行 平成12年11月21日 〒154-8504 世田谷区世田谷4丁目21-27 世田谷区議会 ☎(5432)1111代表 http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。



きたみふれあい広場

## 平成11年度決算を認定

### 第3回定例会開催

#### 議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から33件の案件が、議員から3件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。また、継続審議となっていた議員提出議案(介護保険居宅サービス利用者負担軽減条例)の撤回を承認しました。

#### ●11年度各会計決算の認定 4件

##### ○一般会計

賛成多数

##### ○国民健康保険事業会計

賛成多数  
社・新風・自由  
反対・共 改革派・行革・無党派

##### ○老人保健医療会計

賛成多数  
賛成・自民・公民・無共  
生活・社・新風・自由  
反対・改革派・行革・無党派

##### ○中学校給食費会計

賛成多数  
賛成・自民・公民・無共  
生活・社・新風・自由  
反対・改革派・行革・無党派

#### ●12年度各会計補正予算 4件

##### ○一般会計(第一次)

賛成多数

##### ○国民健康保険事業会計(第一次)

賛成多数  
賛成・自民・公民・無共  
生活・社・新風・自由  
反対・共 改革派・無党派

##### ○老人保健医療会計(第一次)

賛成多数  
賛成・自民・公民・無共  
生活・社・新風・自由  
反対・改革派・無党派

##### ○中学校給食費会計(第一次)

賛成多数  
賛成・自民・公民・無共  
生活・社・新風・自由  
反対・改革派・無党派

補正後の予算額は次のとおり  
一般会計 二二六億九四〇二万九千円  
国保会計 五〇一億二三五九万六千円  
老保会計 六一億八六三〇万九千円  
給食会計 四億七三三〇万円

#### ●条例の新設 4件

##### ○条例の表記を統一する条例 (全員賛成)

条文中のよう音、促音等の表記を統一した。

##### ○美術館美術品等収集委員会条例

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

##### ○文学館文学資料等収集委員会条例 (全員賛成)

○予防接種健康被害調査委員会条例 (賛成多数)

以上3件は、附属機関を設置したものの。

#### ●条例の改正 14件

##### ○財団法人助成条例 (全員賛成)

ふれあい公社の解散に伴い、助成対象から削除した。

##### ○奨学資金条例 (賛成多数)

奨学金の貸付対象者の範囲及び資格要件などを変更した。

##### ○地区会館条例 (全員賛成)

二子玉川地区会館別館(玉川3丁目27-1)を新設する。

##### ○青少年問題協議会条例 (全員賛成)

委員数を20人に改めたことなど。

##### ○環境基本条例 (全員賛成)

委員数を20人に改めた。

##### ○福祉事務所設置条例 (全員賛成)

法改正に伴うもの。

##### ○ひとり親家庭の医療費助成条例 (賛成多数)

助成範囲を変更する。

##### ○特養ホーム条例 (全員賛成)

特養ホームきたざわ苑及び老人短期入所施設きたざわ苑(いずれも北沢5丁目24-18)を設置することなど。

##### ○知的障害者生活寮条例 (全員賛成)

法改正に伴うもの。

代表質問

自由民主党

小畑 敏雄議員

質問 区の財政は景気が上向きつつあるとはいえず、まだ危機的状況にある。

①13年度予算編成では、施策評価を総合的に、行財政改善を一層推進せよ。②新しい都区財調での区への交付金は不十分だ。都に改善を要求せよ。

区長 助役 ①アクションプランの項目の追加も含め、積極的に取り組む。②適正な配分を強く申し入れる。

質問 IT革命への対応が急務だ。①区長は先頭に立って取り組め。②インターネットを利用した申請手続きなど、情報化を区民サービスの向上に生かす。

区長 政策経営部長 ①重点施策として推進していく。②少子高齢化社会への対応にも、積極的に活用する。

質問 社会福祉基礎構造改革により、今後の福祉は大きく転換する。15年度の実施に向け、体制の整備に努めよ。

質問 介護保険では、①国が家事援助など、制度の見直しを検討している。

公明党

小口 義晴議員

質問 21世紀の魅力ある街の実現を目指し、①区長はリーダーシップを発揮して区の将来像を明示せよ。②区独自の防災対策の確立に積極的に取り組め。

③施策評価に区民の評価を取り入れよ。④子どもの権利条例の制定を急げ。

区長 助役 都市整備部長ほか ①自ら先頭に立って取り組む。②施策の充実を図る。③来年度予算に反映させたい。④来年6月に素案を示したい。

質問 介護保険では、①高齢者からの保険料徴収の開始に混乱がないよう万全を期せよ。②寝たきり予防と自立高齢者への支援に努めよ。

保健福祉部長ほか ①十分な態勢を整える。②多様な施策を検討する。

質問 資源循環型リサイクル社会の実

現に、ビジョンを示し強力に取り組む。助役 ごみゼロプランの施策を進める。

9月20日及び21日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その要旨をお伝えします。

日本共産党

岸 武志議員

質問 国連で期限決めの核兵器廃絶の動きがある。区長も即時廃絶を訴えよ。

区長 区民とともに一層努めていく。質問 区民生活を守るため、消費税率の引き上げを行わないよう国に求めよ。

助役 国で税制改正を検討している。

質問 区民のくらしを守ることが区政の最重要課題だ。①老人福祉手当の削減などは福祉の切捨てであり、公約違反ではないか。②住民票の発行手数料の値上げなどはやめよ。③三子玉川再開発は凍結し、福祉を優先せよ。

区長 助役 ①ニーズに対応した福祉の実現に努める。②行革を着実に進め、福祉の向上を図る。③必要な再開発だ。

質問 低所得者の介護保険利用料の軽減

減対象を、全居室サービスに拡大せよ。在宅サービス部長 国の動向を見守る。

生活者ネットワーク

森川 礼子議員

質問 ①区収入は、少子高齢化により、伸びが期待できない。今後の人口構成の変化に対応する財政運営に努めよ。

②使途の制約の少ない補助金制度の拡充を国や都に求めよ。区長 保健福祉部長 ①自主性や自立性を確保していく。②要望していく。

質問 介護保険の、①利用度が低い。周知は十分だったが、②内容を十分説明し、保険料の納付促進を図れ。

保健福祉部長 ①徐々に認知されている。②区民の理解を深めていく。

質問 子どもの、①健全な成長を情報化が阻害する面もある。家庭・地域・学校が連携して対応せよ。②成長の基礎となる、(ア)「食」の実態を調査せよ。(イ)食を通じた交流事業を児童館で行え。

助役 政策経営部長 強く働きかける。

質問 国立小児病院跡地は取得できなかった。今後は、譲渡情報を早期に収集し、国有地などの活用を全力を注げ。

生活者ネットワーク

羽田 圭二議員

質問 ①容器包装リサイクル法での事業者責任を拡大するよう、法改正を強く求めよ。②世田谷清掃工場の建て替えは一部事務組合が行うが、区も積極的に関与せよ。③生ごみの堆肥化を進めるため、NPOへの支援などを行え。

清掃リサイクル部長 ①区長会として要望している。②区民要望の反映に努める。③関係部署で協議したい。

質問 放置自転車の解消が急務だ。民間施設への駐輪場の附置義務基準を強化するなど、条例を改正せよ。

建設住宅部長 検討していきたい。

質問 国立小児病院跡地の今後の利用に、これまでの住民のまちづくり活動が生かされるよう、国に申し入れよ。

助役 政策経営部長 強く働きかける。

質問 地方分権は自治体の独自性の発揮を求めている。①区長の決意を示せ。②住民基本台帳のネットワーク化は、個人情報保護の懸念がある。区民への説明責任を果たし、慎重に対処せよ。

社会民主党

羽田 圭二議員

質問 地方分権は自治体の独自性の発揮を求めている。①区長の決意を示せ。②住民基本台帳のネットワーク化は、個人情報保護の懸念がある。区民への説明責任を果たし、慎重に対処せよ。

区長 助役 ①個性豊かな地域社会の実現を目指す。②万全の態勢で臨む。

質問 学校完全週5日制の実施に向け、子どもの居場所づくりが重要だ。①新BOPの改善には、保護者や地域住民

の意見を十分反映させよ。②多摩川を、自然の中で安全に遊べる空間にせよ。



民主党・無所属クラブ 山口 拓議員

山口 拓議員

質問 介護保険実施後、半年が経過し、新たな課題も生じている。①増加する特養ホーム待機者の解消に力を入れよ。

②痴呆介護の負担を軽減するため、グループホームなどの施設整備を急げ。在宅サービス部長ほか ①民間施設の誘導を図る。②多様な方策を検討していく。

質問 NPO支援の、①条例や指針を整備せよ。②補助金制度なども見直せ。

質問 ①生活体験を重視した、バランスの取れた教育を進めていく。②(ア)検討したい。(イ)工夫して取り組んでいく。

質問 ①容器包装リサイクル法での事業者責任を拡大するよう、法改正を強く求めよ。②世田谷清掃工場の建て替えは一部事務組合が行うが、区も積極的に関与せよ。③生ごみの堆肥化を進めるため、NPOへの支援などを行え。

質問 ①移管される法定外公共物は、自然環境に配慮して管理せよ。②住民参加による街づくりを強力に進めよ。



建設住宅部長ほか ①地域特性に合わせ活用したい。②協働して取り組む。

質問 介護保険は、短期入所サービスの日数の不足と医療介護の不足が分が

ある。家族介護の負担軽減に努めよ。

保健福祉部長 国の動向も見守る。

一般質問

9月21日及び22日の本会議では、31名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その要旨をお伝えします。

川上 和彦議員(自民)

質問 [1]行政評価は、内部評価にとどまらず、事業を始めた理由なども評価要素に加え、区民も交えて評価できるものとせよ。[2]区民施設の運営や維持管理の経費は、徴収する使用料で賄うのが基本と考えるが、区の見解を示せ。[3]区の産業振興策は予算も少なく不十分だ。将来を見据えて強気に展開せよ。政策経営部長ほか [1]区民の幅広い意見も取り入れ、行革の推進に反映させたい。[2]適正な利用者負担の観点から、応分の負担を求めていく。[3]地域産業の活性化に取り組んでいきたい。

笹尾 淑議員(共産)

質問 [1]放射5号線の整備は、玉川上水の貴重な自然環境などを破壊する。①計画の撤回を都に求めよ。②交通量などの予測資料の提供も求めよ。[2]子どもに親しまれている羽根木公園プールの廃止計画は見直せ。[3]介護保険の利用料軽減制度の利用が少ない。①積極的に勧奨するなど、制度の利用促進を図れ。②申請手続きを簡素化せよ。[4]山支所長ほか [1]①環境の保全を働きかける。②申し入れる。[2]梅丘中に温水プールを整備する。[3]PRに努めたい。②きめ細かく対応していく。

谷 逸子議員(公明)

質問 [1]若林小学校の通学路である松陰神社通りで、歩行者の交通事故が多発している。警察と協力し、交通安全対策を強化せよ。[2]青少年の薬物乱用を防止するため、①家庭や地域と連携し、学校での指導に積極的に取り組め。②厚生省が導入した「薬物乱用防止キヤラバンカー」を利用するなど、広報や啓発活動に一層力を入れよ。[3]世田谷支所長ほか [1]総合的な安全対策の充実を図る。[2]①教員への研修など、各学校の指導を支援する。②正しい知識の普及に努める。

長谷川 義樹議員(公明)

質問 [1]高齢者などの給食サービスで、ポランティアの活動は大変重要だ。都の衛生管理施策が強化されると、設備の改修が必要となる。対策を講じよ。

②サポートセンターの設置など、総合計画を策定せよ。[3]寝たきりゼロの実現に向け、①各支所に地域特性に応じた対策を作成させ、成果を競わせよ。②リハビリ体制の強化を図れ。[4]助役 在宅ケア部長 [1]①都に財政支援などを要請する。②検討していく。[3]①工夫を凝らし取り組みを進める。②関係機関との連携を深め進めていく。

板井 斎議員(公明)

質問 [1]不登校生徒の引きこもりの解消に、Eメールは効果的な手段だ。パソコンの貸与など、支援に努めよ。[2]15年度からの障害者施策の変更で備え、ニーズ調査や地域で障害者を支えるモデル事業を実施せよ。[3]建築確認が民間検査機関で受けられるようになり、条例で義務づけられている住民説明を行わない業者がいる。防止策を講じよ。教育政策部長ほか [1]きめ細かな対応策を検討する。[2]具体的なモデルを想定し研究する。[3]条例が徹底されるよう民間検査機関にも要請し努力する。

小野 裕次郎議員(民・無)

質問 [1]ごみ減量への取り組みの強化が重要だ。①子どもたちのリサイクル意識を高める施策を積極的に展開せよ。②生ごみの堆肥化は進んでいるが、利用先の確保が不十分だ。拡充に取り組め。③区独自の環境税の導入を研究せよ。[2]キレる子どもをなくすため、様々な人間関係を体験させる、米田などの暴力防止プログラムを導入せよ。[3]清掃ラザール部長ほか [1]①創意工夫を重ねる。②近郊農家との連携も視野に入れ、検討を進める。③検討したい。[4]各学校での取り組みを支援していく。

増田 信之議員(公明)

質問 [1]下北沢駅の駅前広場の整備は、国の基準を画一的に適用するのではなく、地域の特性や地元要望を踏まえて進めよ。[2]動物愛護法に改正されるなど、動物保護への取り組みが強化された。①ペット条例を早急に制定せよ。②動物保護協力員制度の創設にも努めよ。[3]池尻の騎兵山石段は急なため、高齢者の通行が困難だ。改善を急げ。

助役 北沢支所長ほか [1]地元要望の反映を図る。①積極的に取り組みたい。[2]来年度早々、工事に着手したい。

板井 穂議員(共産)

質問 [1]長引く不況の下、中小零細企業の経営状況は非常に厳しい。入札資格を得られない業者でも、区の小規模な建設工事を受注できる新たな制度を作れ。[2]国立小児病院跡地の取得の断念は、区民への背信行為だ。保健・医療・福祉・防災まちづくりの観点から、国との取得交渉を再開せよ。[3]助役 財務部長ほか [1]簡易な工事は、発注している。[2]跡地を取得する事業者などに対して、周辺環境への配慮や防災上の観点に留意した計画になるよう、強く要請する。

五十畑 孝司議員(自民)

質問 国立小児病院跡地の取得を断念せざるを得なかったが、今後は医療・保健・福祉の連携を計画的に進めるべきだ。①区民が安心して住み慣れた地域で暮らせるよう、終末期医療などを充実せよ。②国は、豊かで活力ある長寿社会を目指した、「メディカル・フロンティア戦略」を発表した。区はこの観点から区民の健康づくりを進めよ。[3]助役 保健福祉部長 [1]在宅医療や介護の拡充を図るとともに、特養ホームや老健施設の整備に努める。②財源確保に努め、課題の解決に取り組む。

宇田川 國一議員(自民) 質問 凶悪犯罪や交通事故の急増などが区民に不安を与えている。[1]行政だけでなく、町会やPTAなども連携し、地域社会全体で安全な環境づくりを積極的に取り組め。②区民とともに安全、安心な地域を作り上げるには、区民に分かりやすい施策を展開することが必要だ。生活安全に関する条例の制定や宣言を行え。

新田 勝己議員(自民)

質問 生活文化部長ほか [1]今後とも連携の強化を図り、地域全体の取り組みとなるよう努める。②区民の意見を幅広く聞いていく。

平山 八郎議員(自民)

質問 [1]道路整備は街づくりの基本だ。道路用地の提供を沿道住民に求める前に、まず行政が率先して学校の敷地などを提供し、整備を急げ。[2]災害時に消防団は大きな役割を果たす。砧地域の消防団の訓練場所を確保せよ。[3]商店街の活性化に向け、環境整備だけでなく、商店主が情熱を持って仕事に取り組めるよう力を注げ。

皇山 晋一議員(自民)

質問 [1]けやきネットは、インターネットの活用などにより改善せよ。[2]情報化の進展は、日常生活の質を大きく向上させる。①学校で、情報機器を使う上でのモラルやマナーを教えよ。②その一方で、人と触れ合う機会が少なくなり、他人を思いやることのできる子どもが少なくなっている。学校では心を大切にする教育を行え。生活文化部長ほか [1]より一層のサービス向上を目指し検討する。[2]①教員の研修などに努める。②地域と連携し、人と人との交流活動を進めていく。

木下 泰之議員(無党派)

質問 [1]小田急開発拠点地域の街づくり協議会役員が建築基準法を犯し、会長が大型駐車場を無届け経営している。①役員、会長の資格を問う。②協議会を解散させ、地区計画原案の協議をやり直せ。[3]松原の小規模宅地開発要綱違反に勧告や氏名公表で厳しく対処せよ。[4]野沢緑地保全地区での屋敷林無届け伐採は沿道法違反で告発せよ。世田谷支所長ほか [1]協議会は自主的な判断で運営されている。[2]法令などを忠実に運用している。[3]届け出の有無のみでの告発は考えていない。

新田 勝己議員(自民)

質問 街づくりの根幹とも言える用途地域指定の、改正の時期が近づいた。①都から区に作成が依頼される改正の原案には、支所の街づくり部を活用して、地域特性を十分反映させよ。②制度の周知に努めよ。③前回の用途地域指定には、隣接区との基準の不整合や、土地利用の実態にそぐわないなどの問題点もある。解消に力を注げ。

都市整備部長

①土地利用現況調査などを踏まえて全力で取り組む。②説明方法に工夫を凝らす。③将来の土地利用の動向を見据えて、整理していく。

小泉 たま子議員(新風21)

質問 [1]①独創的な施策を打ち出せる組織への変革を図れ。②世界に通用する子どもを育てるため、マスコミなどに良質な番組の制作を求めよ。[2]区がまず取り組むべきことは、施策を評価することではなく、区民に役立つ人材を育てることだ。見解を示せ。[3]広報掲示板の活用を促すなど、地域で支え合う活動の情報交換を支援せよ。[4]改善に努める。②PTAなどとともに提案したい。[5]人づくりを基本に区政を推進する。[6]工夫を凝らしていく。

菅沼 つとむ議員(自民)

質問 [1]少年サッカーは青少年の健全育成にも大変有意義だ。二子玉川運動場に少年サッカー場を確保せよ。[2]少子化が進んでいる。区民が保育を共に支え合うファミリーサポート事業の実施を急げ。[3]清掃事業の経費抑制が大変重要だ。退職不補充で職員を計画的に削減し、民間委託を積極的に進めよ。[4]教育次長ほか [1]河川の改修工事に合わせ、少年サッカー場を整備していく。[2]具体的な検討を進めている。[3]民間委託や臨時職員などの活用を含め、効率的な事業運営に努める。

飯塚 和道議員(公明)

質問 防災対策の充実に向け、①民間建物の耐震補強の推進に努めよ。②自販機の電光掲示板を利用した、災害情報提供システムの導入を図れ。③避難場所として、(ア)国立小児病院周辺を確保せよ。(イ)下馬に隣接する目黒区の碑文谷公園の利用も要請せよ。④災害時にペットを保護する体制を確立せよ。[2]都市整備部長ほか [1]融資制度などの利用促進を図る。②検討したい。③(ア)都に避難場所として要請している。(イ)区民の利用も可能である。④協力団体との防災協定の締結に取り組む。

阿部 力也議員(民・無)

質問 [1]図書館の情報化への対応が求められている。①専門性を有し、ITに対応できる司書の育成を図れ。②他の行政機関とネットワークで結び、地域の情報拠点とせよ。[2]PFI手法の導入に向け、モデル事業を選定して検討せよ。[3]バランスシートは、付属書類の充実や外郭団体との連携も行え。教育長 教育次長ほか [1]職員の資質向上に努める。②インターネット接続を検討するなど、サービスを拡大したい。[3]様々な角度から研究を進める。[4]12年度決算に向け準備している。



一般質問

3ページの続き

上島 よしもり議員(自由)

質問 急速に進む高度情報化には、将来を見据えた対応が必要だ。①全庁挙げて総合的に取り組む。②情報格差の是正に力を注ぐ。③情報化社会に適應した地域コミュニティづくりを積極的に進めよ。④責任の所在を明かさな情報発信が容易になるため、社会倫理の低下が懸念される。対策を講じよ。助役 政策経営部長 ①新たな視点からの検討を進めている。②多様な手段で積極的に情報を提供する。③社会状況を見極めながら取り組んでいく。④様々な課題を踏まえ対応したい。

中雄議員(改革派)

質問 千歳台の地区会館・障害者施設の説明会は2回、住民の工事強行反対署名提出直後、区は入札を強行。町会副会長関係の土地だが①購入価格が高すぎる。②母親所有の隣地は、同人が死亡した際に売却、その間使用貸借との覚書を副会長らと締結しているが、自治法に反し背任だ。③所有者に意思能力が欠けると聞く。契約は無効だ。在宅サービス部長ほか ①適正価格と認識している。②用地を将来にわたり使用するため、締結した。③本人の意思と理解している。

稲垣 まさよし議員(民・無)

質問 [住基法の改正により、全国の自治体がネットワークで結ばれる。住民サービスが向上する反面、個人情報流出などの危険性も高まる。①個人情報保護の確保にどう取り組むのか。②費用対効果に関する見解を示せ。③高齢者の再就職が難しい状況だ。区職員の再雇用制度を見直し、民間企業を退職した優秀な人材の採用を検討せよ。世田谷支所長ほか ①個人情報保護への十分な配慮を国などに要望している。②近々開発経費が示される。③今後、検討していきたい。

新川 勝二議員(自・民)

質問 良好な地球環境を未来に引き継ぐための施策の展開が必要だ。①自動車公害対策を強化せよ。②施設や道路建設などの公共工事では環境配慮を徹

底せよ。③子どもたちが生態系を学べるビオトープの整備など、エコアップへの取り組みを強化せよ。④古着などの布類の資源回収システムを確立せよ。環境災害室長ほか ①低公害車の導入などに率先して取り組む。②ISOに即した環境配慮と、工事の廃棄物の排出抑制に努める。③環境学習の拡充などに努める。④早期の創設を目指す。

村田 義則議員(共・産)

質問 [大井町線の急行乗り入れ計画は、地元住民にメリットがなく、反対の声が多い。鉄道事業者に再検討を求めよ。] 副都立大跡地の取得断念は、周辺住民の期待を裏切るものだ。周辺環境に配慮した街づくりを早急に着手せよ。[高齢者の結核患者が増えている。①対策を強化せよ。②訪問健診に携帯型のX線撮影機を導入せよ。] 玉川支所長ほか [区民とともに街づくりを検討したい。] 都へ具体的に要望するなど、強力に取り組む。[①施策の充実に努める。②研究したい。]

桜井 征夫議員(社・民)

質問 [公共工事の下請けでは、適正な賃金や労働時間などが守られていない場合がある。労働者を守るため、「公契約条例」を全国に先駆けて制定せよ。] 区民の自主的な老人給食の活動は、地域保健福祉の重要な役割を担っている。しかし、都の衛生指導が強化されると、大きな制約を受ける。活動が継続できるよう強力に支援せよ。財務部長ほか [引き続き研究していきたい。] 対象施設の実態を踏まえた柔軟な対応や財政的な支援などを、都に強く要望していく。

田中 優子議員(生活系)

質問 [身近な国際交流は国際感覚を養う。①学校で国際理解教育を推進せよ。②外国人向け日本語講座の充実に努めよ。③地域での交流の場に余裕教室を活用せよ。] [ボランティアによる高齢者給食の活動は、大切な役割を果たしている。①一層支援せよ。②都の衛生指導が強化されると、施設改善などが必要になる。対策を講じよ。]

教育政策部長ほか [①支援する。②継続していく。③検討したい。] [①衛生管理の支援も行ってほしい。②必要な財政援助などを都に強く求める。]

木村 幸雄議員(自・民)

質問 [介護への不安や、雇用環境の厳しさなど、高齢者にとって不安な時代が続いている。出張所で、身近な問題を気軽に相談できる体制を整えよ。] 区民税収入の確保は重要だ。債権管理強化のため税務組織を改編したが、今後の具体的な取り組みを示せ。[国分寺崖線のわき水が、開発の影響で失われようとする対策を強化せよ。]

石塚 一信議員(自・民)

質問 介護保険を、高齢者の生活を支える真に有効なシステムにしていくには、良質なサービスの提供ができるような保険制度の運営を目指し、全力で取り組まなければならぬ。①様々な工夫を凝らしている事業者を支援せよ。②具体的な施策を提示せよ。③区立施設の運営では民間施設に模範を示せ。助役 保健福祉部長ほか ①引き続き適切な対応をしていく。②サービス評価の仕組みづくりの検討や、事業者の研究会の支援をしていきたい。③研修や実践などで中心的役割を果たす。

田中 美代子議員(共・産)

質問 [小田急線世田谷代田〜東北沢の、①各駅の周辺住民に街づくり協議会の設置を働きかけよ。②地下化を都に求めよ。] [小田急線の高架下に駐輪場を整備するよう、事業者に求めよ。] [住民基本台帳のネットワーク化は、個人情報流出やプライバシー侵害の防止策が不十分だ。包括的な個人情報保護法の制定を国に求めよ。] 都市整備部長ほか [①地元の要望を把握して対応する。②早急な構造形式の明示を求める。] [工事中の暫定利用も働きかける。] [早期制定を期待する。]

大庭 正明議員(行革10番)

質問 財政危機からの脱却が区政の最重要課題だ。①従来型の行財政改善手法の繰り返しで問題は解決するのか。②これまで都税となつて固定資産税などは、本来は区税だ。区財政を自立させるためにも区に取り戻せ。③区財政は財源などにより都財政の影響を大きく受ける。都の緊縮財政への転換に、どう対処していくのか。助役 財務部長 ①安定的な財源の確保など、財政構造の改革が必要と強く認識している。②非常に困難な課題だ。③都の動向に十分留意している。

西村 孝議員(民・無)

質問 国立小児病院跡地の取得を、区は断念した。①厚生省から厳しい譲渡条件が提示されたらと聞くが、区は地方分権の推進の観点から、どのような主張をし、交渉してきたのか。②跡地利用には、民間活力を活用すべきだ。医療法人を誘致し、高度先進医療を24時間365日提供する総合救急診療科(EIR)の実現を国や都に強く求めよ。助役 政策経営部長ほか ①財政面から様々な提案をしたが、理解を得られなかった。②国の動向や都の「東京ER」構想の検討を見ながら、研究する。

高橋 忍議員(民・無)

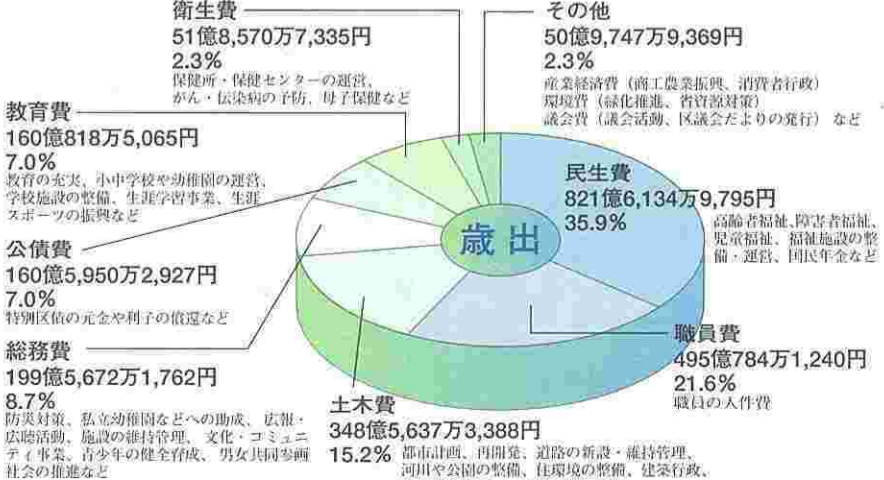
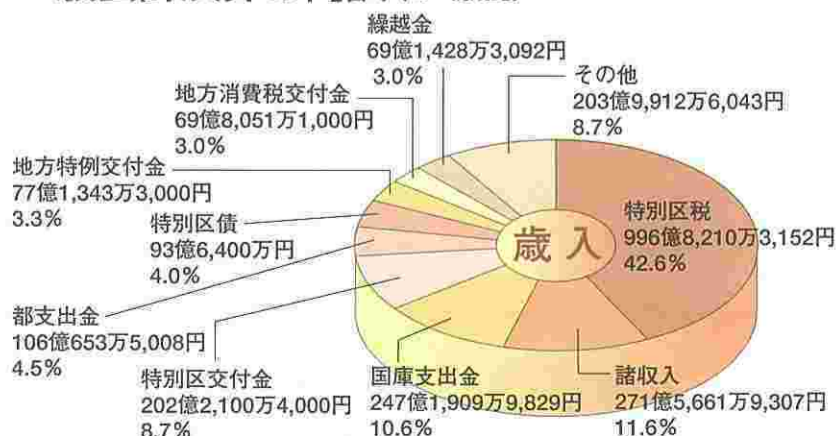
質問 [建築基準法の斜線制限の規定に該当しない事例がある。日照の確保に運用せよ。] [地震が多発している。①防災対策の充実に強力に取り組め。②二次災害の防止に役立つ、応急危険度判定の実施体制の整備に力を注げ。] [学校へのフリークライミング施設の早期設置を要望する。] 都市整備部長ほか [公平公正に法の趣旨に沿って対応していく。] [①引き続き総合的な防災対策を推進する。②判定員の連絡会などの充実に努める。]

●平成11年度各会計決算額●

Table with 5 columns: 歳入決算額, 対前年度比伸び率(%), 歳出決算額, 対前年度比伸び率(%), 歳入歳出差引額. Rows include 一般会計, 国民健康保険事業会計, 老人保健医療会計, 中学校給食費会計, and 計.

平成11年度 決算のあらまし

一般会計決算の内訳 (%=構成比)



# 決算特別委員会での 主な質疑・要望事項

平成11年度決算の審査のため決算特別委員会を設置し、7日間にわたり慎重に審査しました。その要旨をお伝えします。

## 企画総務領域

### 自由民主党

- 地方分権への一層の取り組み
- 将来のビジョンを明示した区政運営
- 行政改革の断行（外郭団体・附属機関の統廃合、職員定数の削減、現業部門の民間委託の促進など）

- 行政評価の充実と積極的な活用
- 国公有地の活用への取り組み強化
- 国勢調査の円滑な実施
- 借り上げ庁舎の早期解消
- 財政自主権確立への強力な取り組み
- 債権管理体制の強化
- コンビニなどでの公金取納の実現

### 公明党

- 行政改革の積極的な推進
- 行政評価の内容充実（区民意見の反映、セーフティネットへの配慮など）
- 情報化の一層の推進（民間との連携、情報弱者対策、サービスの向上など）
- 6つのゼロ実現への強力な取り組み
- 借り上げ庁舎の解消

### 民主党・無所属クラブ

- 行政評価への外部評価の導入
- 国公有地跡地利用検討の早期着手
- 情報公開の一層の推進
- 法定外課税導入への十分な研究
- 参院選と都議選の同日実施の要請

### 日本共産党

- 行革のアクションプランの見直し
- 重要な政策決定情報の迅速な公開
- IT化への万全な取り組み（ホームページの充実、個人情報保護など）
- 大型店対象の環境対策の導入
- 生活者ネットワーク

- 高齢者や地域に役立つ情報化の推進
- パブリックコメント制度の導入
- 社会民主党
- 自治権の拡充と新たな税源の確保
- 効率的な組織運営と職員の能力活用
- 反政党・改革派

## 区民生活領域

### 自由民主党

- 効率的・効果的な地域行政の推進
- 警察と連携した防犯対策の推進
- 区内への火葬場建設
- 庁有車への低公害車の積極的な導入
- 交流自治体との災害援助協定の締結
- 中小企業支援策の拡充（経営体質改善への支援、事業意欲向上への工夫、IT化への支援、融資制度の拡大）
- 出店調整などの大型店対策の強化
- 公共施設案内への商店街灯の活用
- 清掃事業へのPFIの導入
- 清掃工場へのガス化溶融炉の導入

### 公明党

- 災害時助け合いネットワークの構築
- まちづくりでの支所長の指導力発揮
- 男女共同参画社会実現への取り組み
- 区内産業の情報化への支援の強化
- こみゼロプラン2000への取り組み強化
- 清掃一部事務組合分担金の是正
- 清掃工場改築でのダイオキシン対策

### 民主党・無所属クラブ

- 世田谷清掃工場改築での火葬場併設
- NPO支援への取り組み強化
- 暴力などから女性を守る対策の強化
- ペットボトルのリサイクルの推進
- 古着や古布の回収事業の拡充

### 日本共産党

- 音楽活動に利用できる施設の増設
- 中小企業向け緊急融資の継続と改善
- 大型店出店規制条例の早期制定
- 経営実態に応じた産業振興策の推進

- 夏期の生ごみ収集回数増加
- 生活者ネットワーク
- NPOの自立支援策の強化
- 子どもの人権条例の早期制定
- リサイクル施策の強力な推進

### 社会民主党

- IT活用による窓口サービスの向上
- 地域活動情報の出張所での提供
- 反政党・改革派
- 千歳台施設、用地選定経緯の疑惑
- 世田谷区議会自由党
- 無党派市民

### 新風 21

- 地域での情報交換の仕組みづくり
- 世田谷区議会自由党
- 心の東京革命への積極的な取り組み

## 福祉保健領域

### 自由民主党

- 福祉分野での聖域なき行革の推進
- 福祉サービスの現物給付への転換
- 社会保険制度への高齢者の不安解消
- 介護保険の定着への取り組み（保険料の確実な徴収、第三者評価制度の導入、事業者への指導強化など）
- 無認可保育施設の保育水準の確保
- 区立幼稚園の保育施設への転用
- 国保財政の健全運営への取り組み
- 区立特養ホームでのサービスの拡充
- 障害者就業支援策の強力な展開
- 千歳台の施設の円滑な建設と運営

### 公明党

- 介護保険の充実（利用料軽減の拡充、痴呆性高齢者の認定審査の改善、事業者評価の公表など）
- 国民年金の安定運営への国への要請
- 障害者福祉の推進（ケアマネージャーの育成、通所施設の充実など）
- 徘徊高齢者探索でのPHSの活用
- 民主党・無所属クラブ
- 保育室と保育ママの一層の活用

- 児童虐待防止対策の強化
- 国保料の徴収強化
- 痴呆性高齢者への支援策の充実
- 障害者の親なき後対策の強化
- 日本共産党
- 介護保険への取り組み強化（ケアマネージャーへの支援、低所得者への利用料軽減策の拡充など）
- 保育室の保育水準堅持への指導
- 特養ホーム待機者の早期解消
- 生活者ネットワーク

### 社会民主党

- 介護保険の円滑な運営
- 子ども虐待防止対策の強化
- 禁煙を望む区民への支援策の拡充
- 社会民主党
- 障害者の就業支援への取り組み強化
- 民間通所授産施設整備への支援強化
- 反政党・改革派
- 千歳台施設、住民合意が厚生省方針
- 世田谷区議会自由党
- ヘルパー業務の禁止事項の条例化
- 無党派市民
- 予防接種調査医師独占に異議あり

### 新風 21

- 在宅寝たきり者の生きがい対策強化
- 世田谷区議会自由党
- 保健・福祉・医療のITによる連携

## 都市整備領域

### 自由民主党

- 支所での街づくりの積極的な推進
- 羽根木公園プール跡地の活用の工夫
- 地元要望を生かした駅周辺整備促進
- 多摩川遊園の利用者用駐車場の設置
- 太陽光発電を利用した街路灯の設置
- 喜多見駅前への車寄せの整備
- 自然環境の保全・創出への取り組み
- 南北バス路線の早期運行
- 道路整備の着実な推進（都市計画道路の整備促進、用地の着実な取得）
- 放置自転車の早期解消への取り組み
- 区営住宅家賃の徴収率向上

### 公明党

- 21世紀を見据えた都市計画の策定
- 自転車の総合交通計画への位置付け
- 区民に喜ばれる公園の整備推進
- 成城郵便局前の主要生活道路の拡幅
- 玉堤循環バスの事業者補助金の精査

- 建築関係の条例要綱遵守の指導強化
- 住み替え家賃補助利用者への配慮
- 効果的なミニ開発防止策の工夫
- 建物の中間・完了検査の受検の徹底
- 水と緑の保全・創出施策の強化
- ノンストップバスの普及促進
- 希望丘バス路線の早期開設
- 日本共産党
- 二子玉川再開発の抜本的な見直し
- 電柱などの道路占用料の引き上げ
- 祖師ヶ谷大蔵駅の駐輪場整備の要請
- 高齢者住み替え家賃補助削減の中止
- ファミリー向け賃貸住宅の供給強化
- 生活者ネットワーク

### 社会民主党

- 生け垣緑化推進への取り組み強化
- 集中豪雨に備えた治水対策の強化
- 国分寺崖線の自然環境や景観の保全
- 社会民主党
- 区民参加の街づくりの一層の推進
- 区民との協働による緑の保全・創出
- 反政党・改革派
- 千歳台施設、移転補償支出の不当性
- 世田谷区議会自由党
- 放置自転車対策方針の抜本的な転換
- 無党派市民
- 裁判所が小田急連立事業違法に着目

### 新風 21

- 世田谷らしい区独自の街づくり
- 世田谷区議会自由党
- 公営住宅政策の抜本的な見直し

## 文教領域

### 自由民主党

- 地域と連携した学校教育の推進
- 高齢者との交流での子どものしつけ
- 生涯スポーツの地域展開の推進
- 二子玉川運動場駐車場の拡充
- 学校間交流の積極的な推進
- 習熟度別学習制度などの導入
- 不登校対策での自然体験学習の活用
- 部活動存続への強力な取り組み
- 他区との共同による健康学園の運営
- 学校統廃合の強力な推進
- 教員の指導力向上への取り組み強化
- 学校教育での奉仕活動の一層の推進
- 公明党
- 将来を見据えた教育ビジョンづくり

- 学校完全週5日制への万全な準備
- 修学旅行費用の保護者負担の軽減
- 移動教室への奉仕活動の導入
- 学校での小動物に触れる機会の拡充
- 学校教育での地域人材の一層の活用
- 国の新研究開発学校制度の導入
- 民主党・無所属クラブ
- スポーツ振興に向けた財団への支援
- 学校での小児成人病予防対策の強化
- 空き教室の有効活用の推進
- 学校教育での奉仕活動のあり方検討
- 情報教育の積極的な推進
- 日本共産党
- 羽根木公園プールの存続
- 競争原理中心の学校教育の見直し
- 学校教育に配慮した新BOPの推進
- 学校教育での奉仕活動の自発性尊重
- チームティーチングの拡充
- 生活者ネットワーク
- 各校の独自性発揮への財政支援
- 学校の廃PCB製品の安全な保管
- 学校での食教育の積極的な推進
- 社会民主党
- 子どもの自主性を育てる教育の充実
- 新BOPの問題点の早急な改善
- 反政党・改革派
- 統廃合校舎の福祉施設への積極転用
- 世田谷区議会自由党
- 臨時職員活用での学校警備経費削減
- 無党派市民
- 野沢の文化財保存断念と屋敷林伐採
- 新風 21
- 児童会・生徒会の相互交流の実施
- 世田谷区議会自由党
- 教科書の採択方法の根本的な見直し



決算特別委員会 採決

### 平成11年度決算認定に対する

# 党派意見のあらまし

10月19日の本会議で、11人の議員が各党派を代表して、平成11年度各会計決算認定に対する意見を表明しました。その要旨をお伝えします。なお、意見表明者は次のとおりです。

- 自由民主党＝大場康宣議員
- 公明党＝谷逸子議員
- 民主党・無所属クラブ＝阿部力也議員
- 日本共産党＝嘉部広司議員
- 生活者ネットワーク＝田中優子議員
- 社会民主党＝羽田圭二議員
- 反党派・改革派＝下条忠雄議員
- 世田谷行革110番＝大庭正明議員
- 無党派市民＝木下泰之議員
- 新風21＝小泉たま子議員
- 世田谷区議会自由党＝上島よしみり議員



### 小さな政府

#### 小さな政府を目指し 行政改革を強力に進めよ

#### 自由民主党

(賛成意見)

今、区民が区政に強く求めていることは、小さな政府の実現を目指す。行政改革を断行することだ。アクションプランが策定されたが、実行への取り組みは不十分だ。責任の所在を明確にし、着実に実行せよ。また、プランの項目追加や、前倒しにも積極的に取り組め。更に、今年度から施策評価支援システムとバランスシートを導入された。施策の現状や財政状況を広く区民に公表し、区民の理解と協力を得ながら行政改革を推進せよ。

都区制度改革の実施により、施策の自己決定権は拡大したが、税財政制度が一向に改善されていない。柔軟で豊かな発想に基づく施策の立案と実行には十分な財源の確保が不可欠だ。不合理な都区財調制度の改善を初め、財政自主権確立に鋭意取り組め。

介護保険では、65歳以上の区民からの保険料徴収が開始された。理解を得られるよう十分な説明に努め、徴収に

万全を期せ。また、高齢者が要介護状態にならないようにすることが大切だ。元氣な高齢者への対策を充実せよ。安全で快適な生活を保障する上で、都市基盤の整備は不可欠だ。計画道路網の整備では、厳しい財政状況にあっても、優先度の高いものから重点的に取り組め。外環道の整備促進や小田急線梅ヶ丘駅以東の構造形式の早期決定に、積極的に関与せよ。また、小田急線6駅周辺街づくりや、二子玉川再開発での区民の自主的な街づくりを引き続き強力に支援せよ。

子どもの成長には、集団生活の中で学ぶことが重要であるが、児童、生徒が減少し続け、適正規模を下回る学校が生じている。地域の理解を得ながら、学校の統廃合を積極的に進めよ。また、学校施設の有効活用も図れ。

区長は、強いリーダーシップを発揮して職員意識改革を進め、区民生活の向上に全力で取り組め。



### 21世紀

#### 将来のビジョンを明示し 平和で豊かな社会を築け

#### 公明党

(賛成意見)

来るべき21世紀は、平和で人の心を大切にでき、地球環境に優しい世紀にしていかなければならない。区長はリーダーシップを発揮し、安心して暮らせる社会の実現に全力で取り組め。IT革命に国や自治体も取り組み、情報化が急速に進展している。しかし、一方で、情報格差やメディアリテラシーなど、解決すべき課題は山積している。区独自の先進的なIT革命の実現に本腰を入れよ。

区の財政状況は、歳入が落ち込み危機的な状況だ。こうした中、区民の貴重な税金を無駄にしないよう行政改善に取り組みむことは、当然だ。しかし、世田谷区の行革のアクションプランは、福祉や少子化対策の後退など、行政が本来果たすべき役割を見失った内容も見られる。プランの実行には慎重に対応せよ。また、財源確保に向けた都区財調などの交渉では、都に対して毅然とした態度で臨め。

介護保険を、真に区民のためになる制度にするには、国に一方的に従うのではなく、区として、どうすべきかを考えるべきだ。まずは、低所得者の保険料や利用料、サービスに対する満足度などを検証せよ。更に、区民の将来に安心を与えられる保険制度となるよう、全力を注げ。

清掃リサイクル事業を区は積極的に展開している。今後は、清掃事業の移管が区民に喜ばれるよう、成果を出すことが必要だ。廃棄物の排出抑制に努めるとともに、清掃一部事務組合が行う世田谷清掃工場の建て替えに際して、安全性の確保を強く要請せよ。

教育改革は、早急に取り組むべき課題だ。しかし、国の教育基本法の見直しや教育助語の再評価などで、拙速に改革の結論を出すことには問題がある。区は、将来に向けた教育のビジョンを十分検討せよ。また、教育現場で、職員一人ひとりの意識改革に取り組め。



#### 情報化を推進し 区民とともに区政改革を

#### 民主党・無所属クラブ

(賛成意見)

景気回復の兆しが見え始めた一方で、消費の伸びは鈍く、区財政は危機的状況が続いている。区は、財源の安定的な確保に向け、課税自主権行使すべきだ。区民と十分に議論し、環境に配慮した法定外目的税の導入を検討せよ。区は基礎的自治体に位置付けられたが、真の自主・自立に向けては、依然として今なお都区財調制度などの課題が残されている。財政自主権の確立を国や都に求めよ。併せて、全国市長会に早急に加わり、他市と連携してさらなる地方分権の推進に取り組め。

行政評価では、施策評価支援システムで評価結果が低い事業を公表し、見直しを進めよ。また、区民による外部評価の導入やシステムの改善に努めよ。バランスシートは外部団体と連結させ、区民に分かりやすい内容とせよ。

IT基本法の制定など、国は積極的に情報化に取り組んでいる。区も情報化を一層推進するため、情報基盤整備

を積極的に進め、区民サービスの拡充を低コストで実現できるよう力を注げ。住民基本台帳ネットワークの導入については、個人情報保護の観点からの十分な議論と、慎重な対応を要する。介護保険の導入から半年が経過した。区は、区民との議論を重ねて問題点を改善し、将来へ向けた地域ケアシステムの構築に取り組め。また、サービスの評価制度を確立せよ。分かりやすい情報提供や低所得者の保険料と利用料の減免など、きめ細かな配慮も行え。

国立小児病院跡地には、避難場所などへの活用を望む声が多い。防災対策の視点からの活用を国などに要望せよ。緑化推進への取り組みが重要だ。開発時の既存樹木の保全や移植を誘導する基盤づくりなど、事業者と協働して民有地の緑の保全に取り組め。

来年の都議選と参院選は、投票率の向上や経費削減に有効な同日選とするよう、都に強く求めていけ。





福祉・くらし切捨てる  
行革の行動計画は見直せ

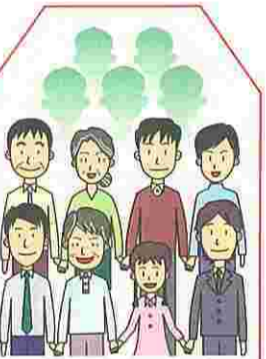
日本共産党  
(一般社団法人国保会計に反対その他の各には賛成する意見)

区は、多額の税金を投入する二子玉川再開発を推し進める一方で、行革の行動計画を策定し、区民の福祉・くらしを切り捨てている。このような、開発が優先された一般会計決算認定には反対する。また、保険料の値上げにより、区民に負担を押し付けた国保会計の決算認定にも反対する。

道にある電柱などの設置者から徴収する道路占用料は、減額せずに徴収せよ。介護保険では、低所得者への保険料と利用料の減免を国に要請せよ。区独自の利用料軽減措置の全居宅サービスへの拡大や保険料の減免措置も講じよ。また、増え続ける特養ホームの待機者の解消に向け、増設を急げ。

行革の行動計画は、低所得高齢者の国保料助成の廃止など、区民に大きな打撃を与えるものだ。計画を見直し、廃止された事業などは復活せよ。また、高齢者の住み替え家賃助成の見直しや、手数料などの値上げなどは行わない。二子玉川再開発は住民の合意が得られていない。十分話し合いを行い、計画は抜本的に見直せ。

区民に負担を求めず、財源を確保することが重要だ。新しい都区財調での財源確保に力を注げ。また、地域環境の悪化をもたらす大型店などを対象とする環境対策税を創設せよ。更に、区



良好な生活環境を目指し  
区の独自性を発揮せよ

社会民主党  
(賛成意見)

地方分権の進展により、区の独自性の発揮が一層求められる。区財政の安定化を目指し、都区財調制度の見直しを都に強く求めよ。区民負担のみに頼らない財源確保の方策も検討せよ。また、行政評価は真に区民にとって必要な施策かどうかを判断するものとすべきだ。公開方法などを改善し、区民の立場で評価を行え。更に、住民基本台帳ネットワークの導入には、個人情報保護の観点から慎重に対処せよ。

地方分権の進展により、区の独自性の発揮が一層求められる。区財政の安定化を目指し、都区財調制度の見直しを都に強く求めよ。区民負担のみに頼らない財源確保の方策も検討せよ。また、行政評価は真に区民にとって必要な施策かどうかを判断するものとすべきだ。公開方法などを改善し、区民の立場で評価を行え。更に、住民基本台帳ネットワークの導入には、個人情報保護の観点から慎重に対処せよ。

環境づくりが急務だ。区民の生命・財産を守るため、支所や出張所が中心となって、地域住民相互の交流が日頃から活発に行われるよう支援せよ。女性の社会進出を支える上でも、子どもの居場所づくりの充実が重要だ。保育園待機児の解消に向け、多様な要望に応えられる保育サービスの提供や質の向上に積極的に取り組め。また、新BOPの展開では、従前の学童クラブ

環境づくりが急務だ。区民の生命・財産を守るため、支所や出張所が中心となって、地域住民相互の交流が日頃から活発に行われるよう支援せよ。女性の社会進出を支える上でも、子どもの居場所づくりの充実が重要だ。保育園待機児の解消に向け、多様な要望に応えられる保育サービスの提供や質の向上に積極的に取り組め。また、新BOPの展開では、従前の学童クラブ



情報公開を促進し  
区民と協働した区政を

生活者ネットワーク  
(賛成意見)

区の財政運営は、厳しい状態が続いている。一層の経費削減に努めるとともに、国からの財源移譲や都区財調制度の見直しを強く働きかけよ。また、区独自の財源確保策も検討せよ。

全国の住民基本台帳がネットワーク化される予定だ。個人情報流出することのないよう、万全を期せ。介護保険が開始され、半年が経過した。サービスの質の向上のため、ケアマネージャーへの研修などの充実や、区民参加のサービス評価制度の導入に取り組み。また、在宅で痴呆性高齢者を介護する家族の負担を軽減するためグループホームの建設を、事業者に働きかけよ。更に、要介護と認定されな

区の財政運営は、厳しい状態が続いている。一層の経費削減に努めるとともに、国からの財源移譲や都区財調制度の見直しを強く働きかけよ。また、区独自の財源確保策も検討せよ。区民と協働した区政運営には情報公開が不可欠だ。施策評価支援システムでは、5段階評価の結果を公表せよ。また、計画段階から区民と情報を共有し、区民意見を施策に反映させるパブリックコメント制度も導入せよ。

全国の住民基本台帳がネットワーク化される予定だ。個人情報流出することのないよう、万全を期せ。介護保険が開始され、半年が経過した。サービスの質の向上のため、ケアマネージャーへの研修などの充実や、区民参加のサービス評価制度の導入に取り組み。また、在宅で痴呆性高齢者を介護する家族の負担を軽減するためグループホームの建設を、事業者に働きかけよ。更に、要介護と認定されな



行政評価

将来展望を明示した区政運営を  
世田谷区議会自由党  
(賛成意見)

国の教育改革では、奉仕活動の義務化が打ち出された。しかし、大切なことは、子どもが様々な分野において強制的ではなく、自主的に取り組むことだ。子どもが自主性を発揮し、本来持っている力を伸ばす教育を行え。区は保育サービス待機児ゼロを目指して、保育室の定員増などを進めてきたが、保育内容の質の問題が問われている。区民の要望に応じられるよう、保育内容の充実を努めよ。

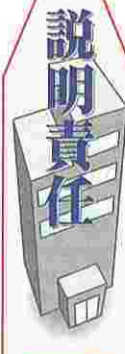
地方分権が進む中、真に自立した自治体への取り組みが一層求められている。しかし、新しい都区財調での財源配分問題を含め、課題は山積している。これらの解決には、区の将来を見据えたビジョンを確立することが不可欠だ。



千歳台施設、まずは白紙撤回を  
反政改・改革派  
(反対意見)

地区会館・障害者施設建設に住民は、区が土地の高値買収など町会副会長の私的利益を図り、一部役員と画策をしたと言っている。協力者への区有地安値提供、移転補償は血税の無駄で犯罪的行為。意思能力のない者との借地契約は無効。区に建物を建てる権利なし。たとえ福祉は正義であっても近隣住民の合意は、厚生省の方針が必要。反対署名提出直後の工事入札強行は地上屋暴力団。白紙撤回が話し合いの条件だ。

約は無効。区に建物を建てる権利なし。たとえ福祉は正義であっても近隣住民の合意は、厚生省の方針が必要。反対署名提出直後の工事入札強行は地上屋暴力団。白紙撤回が話し合いの条件だ。



情報を公開し説明責任を果たせ  
世田谷区行革10番  
(反対意見)

決算委員会は、来年度予算の編成に向けて議論を交わす場だ。しかし、施策評価支援システムによる評価結果ができていながらもかわらず、公表しなかった。このように、区は議論に必要な情報を提供しようとする姿勢が全く

なく、区民にも説明責任を果たしていない。問題だ。更に、11年度の特別職などへの100万円にも上る高額の慶弔費の支出は不当だ。こうした理由から、11年度決算認定に反対する。



開発優先の区政を直ちに改めよ  
無党派市民  
(反対意見)

開発優先の区政が一向に改まっていない。小田急線の開発拠点地区の街づくり協議会役員の建築基準法違反や会長の公害防止条例違反の是正指導は私の指摘まで行なわれなかった。今、東京地裁行政部は小田急高架事業認可に違

法性の疑義を呈しており、建設大臣に対し異例にも文書で釈明を求めた。区決算委では、工事進捗率や区の出資金の使途など初歩的な質問にも答えられない。このような決算認定に反対する。



区民への情報提供の推進を  
新風 21  
(賛成意見)

区財政が置かれている厳しい状況を乗り越えるには、区政の現状を区民に十分理解してもらうことが重要だ。しかし、今決算委員会では、施策評価支援システムでの評価が低い事業などの情報が十分に提供されないまま、審議

に臨まなければならなかった。今後は、区民への情報提供に総力を挙げて取り組むことにより、区が置かれている現状への理解を求め、区民と協働して21世紀の世田谷らしいまちをつくれ。

# 第4回定例会は、11月28日から12月7日まで開催します。

## 区長の区議会招集 あいさつ(要旨)

ウイニベグ市との姉妹都市提携30周年を迎え、区民訪問団などが現地を訪れ、市民の相互理解が深まりました。今後も国際交流の推進に努めます。

直下型の大震災を想定した総合防災訓練を駒沢公園で実施しました。また、三宅島などの被災地に職員派遣などの支援を行っています。1日も早い噴火・地震災害の終息を願っております。

行財政改善計画の重点課題である施策評価は、施策評価支援システムを活用し、11年度事務事業の点検結果をインターネットなどを利用して公表します。また、初めて作成したバランスシートは、今後も更に内容を充実します。

国勢調査は、町会の方々を中心とした調査員が行います。円滑に実施できるように、協力をお願いします。

環境管理の国際規格であるISO14001の13年度認証取得に向け、今後も全庁を挙げて取り組みます。

特養ホーム待ちゼロを目指し、3番目の区立特養ホームを北沢地域に開設します。運営は、公募で選ばれた社会福祉法人に委託し、来年4月の開設に向け、準備を進めます。

介護保険は順調に事業が進展しています。10月より65歳以上の方々からの保険料徴収を開始します。今後とも安定した保険運営に努めます。

エイトライナー構想は、運輸政策審議会の答申に検討路線として盛り込まれています。今後も、早期実現に向け、精力的に取り組めます。

教育関係では、教科書採択事務の移管を受け、採択審議を進めてきました。7月に13年度に使用する中学校などの教科書採択を行いました。14年度の新学習指導要領の本格実施に向けて、万全の準備を進めるとともに、児童生徒の健全育成に一層努めます。

- 精神障害者共同作業所条例 (全員賛成)
  - 管理委託先の組織変更に伴うもの。
  - 公園条例 (全員賛成)
  - 大蔵ひまわり緑地(大蔵1丁目6-22)を新設した。
  - 自転車条例(全員賛成)
  - 次自他車等駐車を新設した。
  - 区営住宅管理条例(全員賛成)
  - 鎌田町アパートの名称を玉川3丁目アパートに変更するとともに、次の住宅を新設した。
- | 住宅名     | 所在地         |
|---------|-------------|
| 八幡山慶明館  | 八幡山3丁目18-19 |
| ユアーズ若林  | 若林3丁目4-10   |
| フローラ千歳台 | 千歳台3丁目18-11 |
- 特定公共賃貸住宅条例(全員賛成)
  - 玉川3丁目特定公共賃貸住宅(玉川3丁目27-1)を新設した。
  - 工事請負契約の締結 2件
  - 仮称下馬防災ボランティア等複合施設新築工事(全員賛成)
  - 契約金額二六億一五三〇万円
  - 工事概要二鉄筋コンクリート造地上3階建(作業訓練室、調理実習室、厨房、医務室、作業室、食堂、職員住宅など)
  - 仮称世田谷区立千歳台地区会館・障害者通所施設新築工事
  - 賛成多数 賛成二員(公民館、民生生活福祉会) 反対二員(新風、自由)
  - 契約金額二四億六〇四二万五千元
  - 工事概要二鉄筋コンクリート造地上3階建(会議室、和室、大広間、食堂、調理室、作業指導室、生活訓練室など)
  - 区道路線の認定・廃止 5件 (全員賛成)
- | 区分 | 所在地         | 延長(m)   |
|----|-------------|---------|
| 認定 | 喜多見5丁目2     | 131.04  |
|    | 岡本2丁目10-9   | 41.58   |
|    | 鎌田3丁目13     | 57.49   |
|    | 北島山7丁目10-11 | 279.73  |
| 廃止 | 鎌田3丁目岡本2丁目  | 2500.98 |
- 議員提出議案 3件

○区議会委員会条例の改正(全員賛成)

○区議会会議規則の改正(全員賛成)

以上2件は、条文中のよう音、促音等の表記を統一したことなど。

○木下泰之議員に対する問責決議

賛成多数 賛成二員(公民館、民生生活福祉会) 反対二員(新風、自由)

○決議文は左記のとおり

○木下泰之議員の発言の取り消しを求めたもの。

## 決議

世田谷区議会は、平成12年9月21日に開催された本会議における木下泰之議員の一般質問に関する発言の一部について、「特定の一般区民が識別され、又識別され得るものであり、その区民のプライバシーが侵害される恐れが強いため」との理由により、同年10月19日「発言取り消しを求める決議」を可決し、議長は、この議決に伴い、同日地方自治法第94条第1項に基づき、当該発言の取り消しを命じたところである。

しかるに、木下泰之議員はこの議会の議決及び議長長の命令に従わなかった。この行為は、議会の紀律に関する地方自治法の規定に反し、議員としての責務にもとるものといわざるを得ず、懲罰事由にも該当するものである。

しかし、今回の事例において、区民のプライバシーを守るためには、発言者本人が自戒し、自らその発言を取り消すしか手立てはない。

よって、世田谷区議会は、発言の取り消しを第一に考慮し、議会の議決及び議長長の命令に従わなかった木下泰之議員に対し、猛省を求めたものである。

右、決議する。

平成12年10月19日

## 請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。

審議が終わったもの(全員賛成)

- 取り下げを承認したもの 1件
- (仮称)第2成城島田マンション建設に関する陳情
- 新しく出されたもの
- ◆企画総務委員会審査するもの 1件
- 世田谷区の「行財政改善推進計画」(アクションプラン)に反対し、区民のくらし・福祉・教育の充実を求める請願
- ◆区民生活委員会審査するもの 1件
- 酒類販売業免許制度等に関する意見書を政府及び関係機関に提出することを求める陳情
- ◆福祉保健委員会審査するもの 2件
- 特別保育制度と予算の維持、及び職員配置の公称格差是正を求める陳情
- 世田谷区の「行財政改善推進計画」(アクションプラン)に反対し、区民のくらし・福祉・教育の充実を求める請願
- ◆都市整備委員会審査するもの 5件
- 沿道地区整備計画における無届伐採行為を告発し、緑の復元を求める陳情
- 区立公園の庭球場に改修工事などを求める陳情
- 世田谷区の「行財政改善推進計画」(アクションプラン)に反対し、区民のくらし・福祉・教育の充実を求める請願
- 「世田谷区小規模宅地開発指導要綱」の遵守、および、悪質建築業者の締め出し、に関する陳情
- 野川流域の環境及び景観の保全に関する陳情
- ◆文教委員会審査するもの 2件
- 世田谷区の「行財政改善推進計画」(アクションプラン)に反対し、区民のくらし・福祉・教育の充実を求める請願
- ◆区立硬式野球場の設置に関する陳情
- ◆地方分権・国公有地等対策特別委員会審査するもの 1件
- 国立小児病院跡地利用についての請願

## 要望書

◆清掃・リサイクル対策特別委員会で審査するもの 1件

○アポジット制度の早期法制化を求める陳情

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

遺伝子組換え食品の監視等に関する要望書

農林水産省は、遺伝子組換え食品について、消費者の選択の権利を保障するため、JAS法(農産物の規格化及び品質表示の適正化に関する法律)改正により、平成13年4月から、5作目の遺伝子組換え農作物とその加工品について「表示」を義務付けました。

現在、我が国においては、大豆、なたねを初めとする7作物29品種の遺伝子組換え食品について、安全性評価の確認がされたとし、一般に流通しています。

また、厚生省では、本年5月に策定した「安全性審査基準」を踏まえて、平成13年4月から、安全性審査の法的義務化を行うこととしています。

しかしながら、欧米諸国では、遺伝子組換え作物が生産系に及ぼす影響などから、規制が強まる傾向にあり、国内でも、多くの消費者が遺伝子組換え食品に強い関心と不安を示しています。

よって、当区議会は政府に対し、消費者の不安を払拭するため、さらに食品の安全性確保のための検査体制の充実と検査結果の公表に努めるとともに、表示対象の食品を限定せず、すべての原料表示を義務化し、表示が適正に行われているかを監視されるよう、強く要望いたします。

平成12年7月6日

## 要望書

内閣総理・厚生・農林水産大臣 あて

正副委員長の互選結果の報告

○決算特別委員会

委員長 五十畑孝司(自民)

副委員長 阿部 力也(民・無)

副委員長 森川 礼子(生活系)

議員の住所変更

木下 泰之(無党派)

(新任所) 代田4-24-15-102

TEL (五三五五) 一二八三

編集後記

○今定例会では、37名の議員が、行財政改革や介護保険制度、清掃・リサイクル問題などの区政の諸課題について質問を行うとともに、平成11年度決算を審査しました。これからも、区議会の活動が、区民の皆様にとってより親しみやすいものとなるよう、区議会だよりの編集に工夫を凝らしていきます。

○区議会定例会は、3、6、9、11月の年4回開かれます。傍聴にお越しになり、直接会議の様子をご覧になるのはいかがですか。また、各総合支所では、本会議や予算・決算委員会の様子をビデオ放映しています。ぜひ、お立ち寄り下さい。

○目の不自由な方のために、区議会だよりのテープ版を発行しています。お知り合いでご希望の方がいらしたら、ご連絡下さい。

○本紙に関するお問い合わせは、区議会事務局調査係までお寄せ下さい。

TEL (五四三三) 一一一一

FAX (五四三三) 三〇三〇

本紙に掲載された質問や答弁等の内容を詳しくお知りになりたい方は、会議録(本会議の分は11月中旬旬、決算特別委員会の分は1月中旬の発行予定)をご覧ください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所などに備えてあります。また、ホームページでもご覧いただけます。

